

社会福祉法人尼崎稲葉園

令和元年度

事業報告

■基本理念

利用者の人権の尊重とプライバシーの遵守を基盤に、利用者の障害の特性と意向を理解して相互に信頼し合い、自立に向けて支援するとともに、心豊かに地域社会で暮らせることに努める。

■運営方針

- ① 利用者一人ひとりの人権を尊重し、プライバシーを遵守
- ② 虐待防止の徹底
- ③ 個人情報保護の徹底
- ④ 個別支援計画に基づいた支援
- ⑤ 自立(自助)と共助の精神を高める支援
- ⑥ 地域社会との結びつきを深め、ノーマライゼーションの理念を大切にし、地域と一体となった施設運営

■事業概要

種 別		事業名	定員
第一種社会福祉事業	障害者支援施設の経営	施設入所支援	52名
第二種社会福祉事業	障害福祉サービス事業の経営	生活介護	52名
		就労継続支援事業B型	28名

※全事業の主たる対象者：身体障害者

令和2年3月31日現在 入所者数		
施設入所・生活介護	51名	31.4.23加西市より1名入所
		2.1.29総合リハビリテーションセンター
		自立訓練センターより1名入所
		1.10.31他施設へ転出のため1名退所
就労B	14名	30年度末より2名退所 ※自宅復帰のため

★新型コロナウイルス感染対策

緊急事態宣言発令から解除されるまでの間、以下の対策を行う

生活支援・入所利用者

- ・外出、外泊(帰宅)は控える
- ・日中活動(作業)時間短縮 9:00～16:00 を 10:00～15:00 に変更する
- ・食堂のテーブルに飛沫感染防止のため「ついたて」を設置する

就労B利用者

期間中の登園を自粛していただく

■令和元年度の重点項目

★個別支援計画

〔支援の課題把握〕→〔支援計画策定〕→〔支援の実施〕→〔支援の評価〕の徹底

↳ ・計画的な取り組みの実施

支援計画策定にあたり、サービス管理責任者は利用者の希望する生活および課題等の把握、実施状況の把握を行い、支援計画作成にかかる会議を開催した。

その計画は利用者または家族に説明し、同意を得る。

★利用者の高齢化、障害の重度化への対応策の検討

- ・支援量の増加に伴い、効率よく支援を実施するために、早番・遅番等時間差勤務の導入
- ・介護技術の研鑽に努める

【適切な支援と業務環境の改善に向けて】

4月から生活支援員の勤務シフトに〔早番7:00～16:00〕〔遅番11:30～20:30〕を本格導入し、夜勤帯(16:30～翌9:30)の就寝前および起床時の支援の多い時間帯に夜勤者と支援員の2名を充てるようにした。

また、休日日中についても生活支援員2名で利用者支援を行うようにし、できる限り『ワン・オペ支援』にならないように業務環境改善に努める。

【預り金出納管理ソフト導入】

利用者預り金制度の出納事務は手書きで台帳記入を行っていたが、記入間違いや時間短縮を図るために利用者支援記録ソフトを導入し、正確な管理を行えるようになった。

●利用者支援

①生活介護事業 ・ 施設入所支援事業

・安全な支援を提供するための取組

- (1)施設内の整理整頓の実施
- (2)インフルエンザ等の感染症予防対策の徹底
- (3)体調不良者の早期発見、対応の徹底
- (4)利用者のケガ、骨折等を防ぐための転倒防止の取組

生活介護事業	利用者支援内容
▼相談助言	
▼心身の状況に応じた適切な介助・支援等	レクリエーション活動 ・ 身支度支援 ・ 布団干し ・ シーツ交換 ・ 洗濯 買物 ・ 移動時の介助 ・ 排せつの介助
▼入浴または清拭	着脱衣・洗身介助 ・ 白癬症感染者の足浴
▼食事の提供および栄養管理	食事の介助、見守り 栄養管理に基づいた摂取指導および摂取状況を家族に報告し協力を求める
▼日中活動の機会の提供	プラスチック加工品の品質検査 ・ 名札制作 ・ その他簡易作業
▼健康管理	健康管理指導、相談、看護、処置 ・ 各病院での受診指導、付添、送迎 服薬指導、管理 ・ 体重測定 ・ 血圧測定 利用者総合健康診断 → 結果を家族へ報告し理解を求める 内科健康診断 ・ 配薬および服薬確認 ・ 水分摂取の指導、管理 ・ 機能回復訓練

施設入所支援事業	利用者支援内容
▼相談助言	
▼心身の状況に応じた適切な介助・支援等	着脱衣の介助 ・ 移動時の介助 ・ 排せつの介助
▼清拭	

▼食事の提供

食事の介助、見守り

▼健康管理

配薬および服薬確認

②就労継続支援事業B型

・生産活動支援の取組

(1)生産受注量の確保

(2)作業能力維持向上の訓練

(3)職場規律・社会規律遵守の訓練

就労継続支援事業B型	利用者支援内容
▼生産活動の機会の提供	プラスチック加工品の品質検査・名札制作・その他簡易作業
▼相談助言	
▼食事の提供	栄養管理に基づいた摂取指導および摂取状況を家族に報告し協力を求める
▼健康管理	健康管理指導、相談・体重測定・血圧測定 利用者総合健康診断 → 結果を家族へ報告し理解を求める 内科健康診断

【集団感染】

元年5月2日から、原因は不明ではあるが利用者15名・職員1名に嘔吐下痢の症状が相次いだ。

10連休中であつたが、幸い本園派遣医師の島田クリニックが開院していたので対応していただく。

また、市保健所は閉庁していたが、市のコールセンターに連絡を入れると休日にも関わらず保健所の職員の方に来園いただき必要な指示を受け対応した。

再発防止策として以下の項目を重点的に取り組んだ。

- ・園内手すり等の消毒を増やす
- ・居住棟トイレの清掃は1日1回に限らず、汚れていればその都度清掃
- ・食事前の手洗い・消毒の徹底
- ・野菜・果物を加熱せず提供する際、強酸性電解水で殺菌処理を行う。
- ・食肉等の加熱冷却温度(内部)の記録徹底」を行う。

【利用者健康診断 1.7.31】

受診者数 生活・入所利用者50名
就労B利用者13名 計63名

【利用者健康診断(血液検査) 2.1.24】

受診者数 生活・入所利用者50名
就労B利用者13名 計63名

健康診断結果および栄養管理・食事摂取状況を家庭に送付し、園での健康管理状況を知らせるとともに、家庭での健康管理について協力を求めた。

【生産活動受注状況】

2.3.31現在

	令和元年度	30年度	差
作業工賃収入	5,484,524	9,541,052	-4,056,528
加工	5,484,524	6,297,135	-812,611
技工	0	3,243,917	-3,243,917
利用者工賃	3,274,130	5,280,815	-2,006,685
経費	2,669,531	4,259,607	-1,590,076
差引損益	-459,137	630	-458,507

●施設の行事等

生活介護支援事業・就労継続支援事業B型 共通

内 容	実施予定
・お花見会	4月
・稲葉園祭	10月
・利用者日帰り旅行	11月

【ミニ遠足(お食事会) 6月から7月】

行先:イオン猪名川

参加人数	
生活・入所利用者	43人
就労B利用者	12人
職員	延べ28人

ここ数年、利用者の障害の重度化、高齢化に伴い外出が困難な利用者が増加し、食事や買い物に行きたいという要望が多く寄せられていた。

これを踏まえ、レクリエーションの一環として昨年まで3階多目的室で行っていた“お花見会”を、少人数のグループ単位での“ミニ遠足”として、園の車を使用し4班に分かれて実施した。

園を10:00過ぎに出発しイオン猪名川に11:30頃到着。

食事はフードコートにて、【ラーメン+チャーハン】【ちゃんぽん+餃子】【皿うどん+餃子】の中から選択制とし、おやつに【サティワンアイス(フレーバー選択メニュー)】を提供した。

食事後は、店内を班行動(職員1名に利用者約2人)で買物をしたり、おやつタイムを楽しみ、15:00頃イオン猪名川を後にし16:00頃帰園した。

【日帰り遠足 令和元年11月13日・27日】

行先 【琵琶湖博物館・大津サービスエリア 昼食:ホテルニューオウミ】

参加人数	
生活・入所利用者	39人
就労B利用者	11人
職員	延べ28人

昨年度に続き、利用者の外出の機会の提供とレクリエーション活動の一環として、琵琶湖方面への日帰り遠足をリフト付き観光バスを利用し、2班に分けて実施した。

琵琶湖博物館の見学では、琵琶湖に生息する淡水魚の展示見学や、実際の魚などに触れる体験を通し、日頃にない経験をすることができた。

昼食にはホテルニューオウミでランチメニューを味わい、大津サービスエリアではショッピングや軽食を楽しみ帰路についた。

また、利用者の転倒には十分に注意を払っていたが、利用者1名が駐車場の車止めに足を引っかけて転倒し、顔面を擦り剥く事故(全治1ヶ月)が発生した。これは付添いの職員が一瞬目を離したことにより本来歩くべき通路に誘導していなかったことが原因となった。これを反省点とし、職員は気を抜かずに支援を行う大切さを改めて実感した。



【稲葉園祭 令和元年11月2日】

参加人数	
利用者	61人
利用者家族	49人
役員	3人
一般	38人
ボランティア	17人
取引先	4人

イベントでは、恒例になった“銭太鼓演舞”や”ハーモニカ演奏”を鑑賞し、作品展においては利用者が創作活動で作成した“ステンドグラス風写真立て”や“紙皿リース”の展示等を行った。

また、模擬店では毎年好評の“ちらし寿司”と“焼きそば”、スイーツは新メニューの”パンケーキ”を提供した。



●避難訓練

生活介護支援事業・入所支援事業・就労継続支援事業B型 共通

内 容	実施予定月
・総合訓練(通報・避難・消火)	5月 (避難は昼間想定)
・避難訓練	6月 (夜間想定)
	10月 (夜間想定)

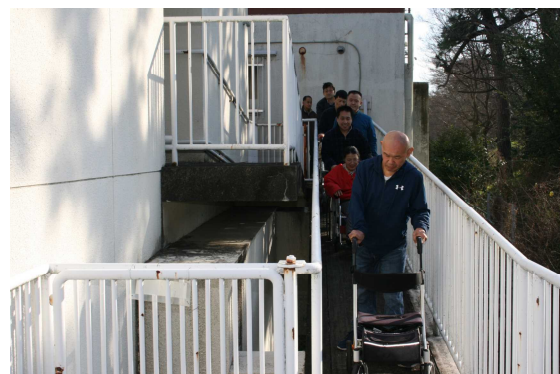
【避難訓練】 第1回: 令和元年12月18日(昼間想定)

第2回: 令和2年2月19日(夜間想定)

出火場所を理解し、正しい避難経路で避難することを目的として“避難訓練”を実施した。

両回とも、予め出火元を知らせておき、利用者自身が状況判断して避難行動を開始することとした。

結果、誤った避難経路を取る利用者はなく、スムーズに避難することができた。今後は「抜き打ち訓練」等を実施し、「自分の命は自分で守る」を意識付け、万一の時にも安全に避難できるように訓練する。



●評議員会・理事会等

▼評議員会の開催

定時評議員会 令和元年6月21日	議案第1号	平成30年度社会福祉法人尼崎稲葉園会計決算の承認について
	議案第2号	社会福祉法人尼崎稲葉園役員の選任について
	報告事項	平成30年度社会福祉法人尼崎稲葉園事業報告

第2回評議員会 令和2年3月27日	議案第1号	令和元年度社会福祉法人尼崎稲葉園補正予算について
	議案第2号	令和2年度社会福祉法人尼崎稲葉園事業計画について
	議案第3号	令和2年度社会福祉法人尼崎稲葉園予算について
	議案第4号	社会福祉法人尼崎稲葉園監事の選任について

▼理事会の開催

第1回理事会 令和元年5月27日	議案第1号	平成30年度社会福祉法人尼崎稲葉園事業報告および会計決算について
	議案第2号	社会福祉法人尼崎稲葉園役員候補者の推薦について
	議案第3号	令和元年度共同募金の受配要望について
	議案第4号	令和元年度社会福祉法人尼崎稲葉園定時評議員会の開催について

第2回理事会 令和元年6月21日	議案第1号	社会福祉法人尼崎稲葉園理事長の選定について
	議案第2号	社会福祉法人尼崎稲葉園副理事長の選定について

第3回理事会 令和元年10月25日	議案第1号	社会福祉法人尼崎稲葉園就業規則の一部改正について
	議案第2号	社会福祉法人尼崎稲葉園育児・介護休業等に関する規程の制定について
	議案第3号	社会福祉法人尼崎稲葉園預り金の一部改正について
	議案第4号	社会福祉法人尼崎稲葉園苦情解決第三者委員の選任について

第4理事会 令和2年3月18日	議案第1号	令和元年度社会福祉法人尼崎稲葉園補正予算について
--------------------	-------	--------------------------

議案第2号	令和2年度社会福祉法人尼崎稲葉園事業計画について
議案第3号	令和2年度社会福祉法人尼崎稲葉園予算について
議案第4号	社会福祉法人尼崎稲葉園理事会運営細則の一部改正について
議案第5号	社会福祉法人尼崎稲葉園監事候補者の評議員会への推薦について
議案第6号	社会福祉法人尼崎稲葉園評議員選任会任意委員会委員の選任について
議案第7号	社会福祉法人尼崎稲葉園苦情解決第三者委員の選任について
議案第8号	令和元年度第2回社会福祉法人尼崎稲葉園評議員会の開催について
報告事項	令和元年度下半期 理事長職務執行状況報告

▼監事監査の開催

監事監査 令和元年5月20日	平成30年度事業内容・会計決算について
-------------------	---------------------

●定例会議

内 容	開催予定
・職員会議	月1回
・個別支援計画会議	月1回
・ケース会議	必要時開催
・生産活動評価検討会議	9月・3月
・支援係ミーティング	必要時開催
・主任以上会議	必要時開催
・給食委員会	6ヶ月に1回
・防災委員会	避難訓練の前
・事故発生防止委員会 (ヒヤリハット)	必要時開催
・虐待防止委員会	必要時開催
・感染症対策委員会	必要時開催

●地域社会に貢献する取組

地域において公益的な取組を行う

《地域福祉の向上に向けた活動》

・ボランティア、福祉人材の育成(実習生の受入等)

【実習受入】

1.9.4～9.19

兵庫県立武庫荘総合高校福祉探求科2年生 2名実習受入

1.10.29～1.11.2

園田女子大学人間健康学部食物栄養学科

給食経営管理臨地実習受講学生 1名実習受入

●職員研修

●外部研修

月日	研修名	主催	参加者
1.6.13 1.6.21	社会福祉援助基礎研修	兵庫県福祉人材研修センター	生活支援員1名
1.7.18	自衛消防隊員研修会	尼崎市防火協会	生活支援員1名
1.8.19	サービス管理責任者就労分野連絡会	兵庫県身体障害者支援施設協議会	サービス管理責任者1名 ・施設長1名
1.9.6	障害者虐待対応力向上研修 基本講義	兵庫県	生活支援員2名
10月～2月	普通救命講習	尼崎市消防局	職員6名
1.10.25	感染症対策講演会	尼崎市保健所	生活支援員1名
1.10.28	障害者支援施設 真生園 (和田山町)	施設見学	評議員1名・サービス管理責任者2名・栄養士1名
1.10.29	介護事業場労務管理等 研修会	尼崎労働基準監督署	施設長
1.12.17	社会福祉法人研修会	尼崎市法人指導課	施設長・事業課長
2.1.10	障害者虐待対応力向上 研修	兵庫県	生活支援員2名
2.2.12	障害者の日中活動および 情報交換会	兵庫県身体障害者支援施設協議会	生活支援員2名

★介護機器の導入

【移動式スロープおよびシャワーキャリー】

支援員の介助があっても移動、移乗に状態が安定しない利用者が増加し、転倒や転落のリスクが増加している。

また、幸い大事故に至らなかったが、支援員が利用者を移乗介助しているときに、バランスを崩し共に倒れ込むという事故が発生したことから、入浴用補助具として「移動式スロープおよびシャワーキャリー」を導入し、居室からシャワーキャリーに乗り換え、そのまま脱衣場および浴室に移動できるように環境を整えた。

《総額352,000円》

